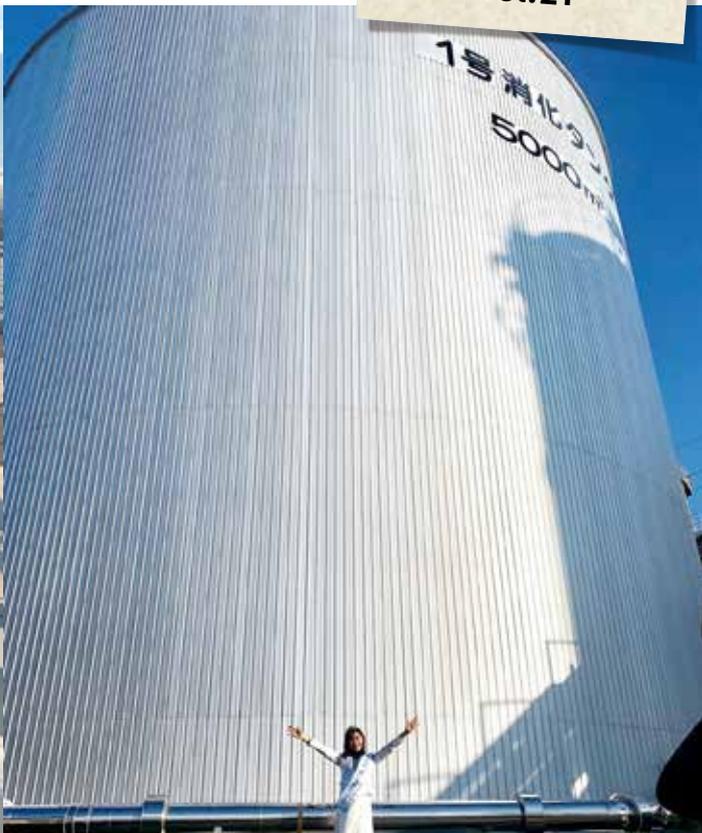




6.安全な水とトイレを世界中に 7.エネルギーをみんなに そしてクリーンに
9.産業と技術革新の基盤をつくろう 13.気候変動に具体的な対策を



埼玉県元荒川水循環センターを見学する中村さん(左)。汚泥は消化タンク(右)で減量・安全化され、得られたガスで発電も行っている。

広がる下水道の可能性

みなさんは下水道について、どんなイメージを持っていますか？ 下水道は、私たちの生活の中に、当たり前にあるもの。であり、使い終わったもの。に関わるものというイメージが先行するかもしれません。しかし下水道は、私たちの未来を創る、可能性の宝庫なのです！

なかでも注目されているのは、下水処理の過程で生まれる汚泥です。汚泥処理中に発生するガスから水素を作り出し、燃料電池自動車に補給する実験がスタートしています。この水素はカーボンニュートラル*であることから、環境に優しいエネルギーとして地球温暖化抑制の一助となるのです。

また、「ビストロ下水道」というプロジェクトをご存じですか？ これは、下水道資源を食料生産に有効活用する取り組みのことで、汚水を浄化した再生水を利用して米の栽培や海苔の養殖を行ったり、下水道由来の肥料を使って野菜や果物を栽培したりしています。食味向上や土壌の改良、地域農業の活性化につながる、次世代の農業や食を担うプロジェクトです。

下水道は、私たちの快適な生活を支えるだけでなく、あらゆる可能性が詰まった宝箱。そんな下水道の可能性を、次世代を担う子どもたちに伝える——これが私の大事な役割の一つです。

*発生から使用・廃棄の過程全体で、二酸化炭素の排出量と吸収量が同じであること。

今月の投稿文と写真 中村真優さん
2020 ミス日本「水の天使」。水の広報官として、自然の恵みである水循環と豊かで清潔な水を守る人々の心と技に触れ、培った知識と体験を広く伝える、水に対する人々の意識を高める役割を担う。

あなたの投稿をお待ちしています！

「わたしが見つけたSDGs」に写真と文章をお寄せください。貧困や気候変動、格差ほか、いま世界が直面している課題やその解決に向けた取り組みのエピソードなど、SDGsの17の目標を身近に感じられる作品をお寄せください。

応募要項：写真1点(ご自身が撮影されたもの)、文字原稿400字以内。

*写真内の被写体に関する肖像権およびその他の権利は、投稿者の責任において被写体や権利保持者の承諾を得るなど必要な措置をとったうえでご応募ください。

ご応募・お問い合わせ先 ▶ ML_JICAPR@jica.go.jp (「mundi」編集部宛て)



SDGsとは

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)は「誰一人取り残さない」をスローガンに、格差や貧困、環境破壊など世界が直面している問題の根本的な解決を目指す17分野の国際目標。

持続可能な開発目標(SDGs)と
JICAの取り組み

